

平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ゴトー

コード番号 9817 URL <http://www.gms.co.jp/goto>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 行宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 土橋 文彦

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

TEL 055-923-5100

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	2,775	△12.5	0	—	60	—	21	39.2
22年2月期第1四半期	3,171	—	△77	—	△16	—	15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	2.28	—
22年2月期第1四半期	1.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	12,653	9,974	78.8	1,083.33
22年2月期	12,229	9,970	81.5	1,082.88

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 9,974百万円 22年2月期 9,970百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において、第2四半期期末日及び期末日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予定額は未定であります。
(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	5,625	△10.0	△3	—	97	△15.6	△87	—	△9.47
通期	11,214	△9.6	66	—	281	22.3	24	—	2.70

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 9,207,753株 22年2月期 9,207,753株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 361株 22年2月期 361株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 23年2月期第1四半期 9,207,392株 22年2月期第1四半期 9,207,422株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。業績予想については、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 期末日における配当予想額は現時点では未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し、見通しが立った時点で開示いたします。その時期につきましては、22年8月中を予定しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における我が国経済は、海外経済の改善を起点として緩やかに回復しつつあり、雇用・所得環境も厳しい状態にあるもののその程度は和らぎ、個人消費も政府の経済対策を背景に持ち直し傾向にあります。一方、欧州の財政不安で金融市場が不安定となっていることから、世界経済は不安定要素を抱えております。

国内小売業界におきましては、経済の先行き不透明感から消費者心理が冷え込み、販売量の増加には繋がらず、販売価格も下げ止まっておらず、大変厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社では、以前にも増し、環境の変化に合わせたきめ細かな対応を可能とするため、カルチャー事業部をツタヤ事業部とブックオフ事業部に分離し、店舗対応の迅速化と改善に取り組んでまいりました。

当第1四半期会計期間は、不採算店舗1店舗を閉店し、53店舗（前事業年度末54店舗）となりました。

（TSUTAYA事業）

レンタルは、レンタル価格の引下げとタイトル不足により低調に推移し、CD・DVD販売及びゲーム販売は取扱店舗の減少により、売上高は1,317百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

（BOOK OFF事業）

取扱店舗の増加により中古ゲームは売上が伸びましたが、本、CD・DVDが低調となり、売上高は820百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

（ゲーム事業）

新品、中古とも、ソフト・ハードいずれも低調に推移し、売上高は460百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

（ファッション事業）

消費の冷え込みと天候不順により、売上高は177百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期会計期間におきましては、売上高は2,775百万円（前年同四半期比12.5%減）、営業利益0百万円（前年同四半期は営業損失77百万円）、経常利益60百万円（前年同四半期は経常損失16百万円）、四半期純利益21百万円（前年同四半期比39.2%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ423百万円増加し、12,653百万円となりました。これは主に現金及び預金が649百万円増加し、商品が17百万円、除却等により有形固定資産が22百万円、賃借店舗の解約等により敷金及び保証金が60百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ419百万円増加し、2,678百万円となりました。これは主に短期借入金が271百万円、長期借入金240百万円、賞与引当金が54百万円増加し、社債20百万円、買掛金が38百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ4百万円増加し、9,974百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が16百万円減少し、利益剰余金が21百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ649百万円増加し、2,531百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は131百万円(前年同四半期比78百万円増)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益46百万円、非資金取引の減価償却費の計上45百万円、賞与引当金の増加54百万円、たな卸資産の減少17百万円、未払消費税等の増加28百万円があり、支出な主な内訳は、法人税等の支払15百万円、仕入債務の減少40百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は26百万円(前年同四半期比41百万円減)となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入67百万円、有形固定資産の取得による支出16百万円、有形固定資産の除却による支出14百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は491百万円(前年同四半期比263百万円増)となりました。

これは主に短期借入金の純増額100百万円、長期借入れによる収入500百万円、社債の償還による支出20百万円、長期借入金の返済による支出88百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期業績の見通しにつきましては、1.経営成績に関する定性的情報に記載のとおり、事業全般に亘り厳しい状況で推移しておりますが、平成22年4月9日に公表の「平成22年2月期決算短信(非連結)」から変更しておりません。

当第1四半期以降の企業を取り巻く環境は依然厳しいまま推移するものと思われませんが、売上げ増に努め、売上原価の低減や販売費及び一般管理費の削減に取り組み、業績の向上を目指してまいります。なお、今後、業績に係る進捗状況の確認作業を進めてまいります。予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに公表させていただきます。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の実地棚卸の省略

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,081,310	2,431,834
売掛金	54,505	49,052
有価証券	100,018	100,040
商品	1,245,363	1,263,097
その他	455,473	472,841
貸倒引当金	△1,912	△1,916
流動資産合計	4,934,758	4,314,950
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,223,609	1,246,159
土地	3,250,681	3,250,681
その他(純額)	226,956	226,961
有形固定資産合計	4,701,247	4,723,802
無形固定資産		
投資その他の資産	38,533	41,045
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,379,418	1,439,429
建設協力金	657,296	730,254
その他	959,050	997,395
貸倒引当金	△16,934	△17,018
投資その他の資産合計	2,978,831	3,150,060
固定資産合計	7,718,613	7,914,908
資産合計	12,653,371	12,229,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,108	240,079
短期借入金	559,380	287,800
未払法人税等	22,593	35,685
賞与引当金	156,848	102,212
その他	545,248	531,307
流動負債合計	1,485,179	1,197,085
固定負債		
社債	80,000	100,000
長期借入金	550,000	310,000
退職給付引当金	105,941	101,071
その他	457,572	551,115
固定負債合計	1,193,514	1,062,186
負債合計	2,678,693	2,259,271

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,546,671	2,546,671
資本剰余金	2,705,505	2,705,505
利益剰余金	4,651,037	4,629,994
自己株式	△328	△328
株主資本合計	9,902,886	9,881,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71,791	88,744
評価・換算差額等合計	71,791	88,744
純資産合計	9,974,677	9,970,587
負債純資産合計	12,653,371	12,229,859

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	3,171,519	2,775,279
売上原価	1,803,875	1,493,470
売上総利益	1,367,644	1,281,809
販売費及び一般管理費	1,445,383	1,281,598
営業利益又は営業損失(△)	△77,739	211
営業外収益		
受取利息	1,733	1,044
受取配当金	597	150
不動産賃貸料	171,847	149,312
その他	29,654	31,750
営業外収益合計	203,832	182,258
営業外費用		
支払利息	5,664	4,796
不動産賃貸費用	134,040	112,384
その他	3,099	5,123
営業外費用合計	142,803	122,303
経常利益又は経常損失(△)	△16,710	60,165
特別利益		
事業譲渡益	24,721	—
貸倒引当金戻入額	4	88
保険解約返戻金	20,622	—
特別利益合計	45,348	88
特別損失		
賃貸借契約解約損	4,000	14,086
特別損失合計	4,000	14,086
税引前四半期純利益	24,637	46,167
法人税、住民税及び事業税	8,891	15,870
法人税等調整額	629	9,253
法人税等合計	9,521	25,124
四半期純利益	15,115	21,042

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	24,637	46,167
減価償却費	57,852	45,287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△88
賞与引当金の増減額(△は減少)	54,337	54,636
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,382	4,870
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△107,750	—
受取利息及び受取配当金	△2,330	△1,194
支払利息	5,664	4,796
賃貸借契約解約損	4,000	14,086
事業譲渡損益(△は益)	△24,721	—
保険解約返戻金	△20,622	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5,472	△5,453
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,743	17,734
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,959	△40,074
未払消費税等の増減額(△は減少)	296	28,634
その他	133,226	△16,759
小計	107,514	152,643
利息及び配当金の受取額	1,285	204
利息の支払額	△7,257	△5,340
法人税等の支払額	△48,143	△15,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,399	131,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
事業譲渡による収入	27,842	—
有形固定資産の取得による支出	△86,231	△16,494
有形固定資産の除却による支出	—	△14,086
敷金及び保証金の差入による支出	△27,557	△208
敷金及び保証金の回収による収入	39,556	67,324
保険積立金の解約による収入	91,712	—
その他	22,219	△10,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,542	26,507
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100,000
長期借入れによる収入	400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△95,190	△88,420
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△57,511	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	227,298	491,286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	348,240	649,475
現金及び現金同等物の期首残高	2,175,348	1,881,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,523,588	2,531,310

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 事業別売上高の状況

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
TSUTAYA事業	1,570,245	49.5	1,317,489	47.5
BOOK OFF事業	891,778	28.1	820,104	29.5
ゲーム事業	521,464	16.5	460,446	16.6
ファッションその他事業	188,031	5.9	177,239	6.4
合計	3,171,519	100.0	2,775,279	100.0

(注) 1. 上記売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 事業別の売上内容は次のとおりであります。

- ・TSUTAYA事業 CD・DVDレンタル、CD・DVD・新刊本・新品
ゲームソフト及びハード販売
- ・BOOK OFF事業 リユース書籍、リユースCD・DVD販売、リユース
スポーツ用具・衣料、リユースキッズ衣料及びベビー
用品販売
- ・ゲーム事業 ゲームソフト及びハードの新品・リユース販売（ゲー
ムツタヤを除く）
- ・ファッションその他事業 メンズ衣料、カジュアル衣料、レディース衣料販売